

平成 21 年新司法試験の結果について

九州大学法科大学院長

西山 芳喜

平成 21 年 9 月 10 日、本年度の新司法試験の結果が発表され、本学修了生 46 名が合格いたしました。

以下は、その成績結果の詳細であり、括弧の中の順位は全国 74 校中の順位です。

	全国	本学
出願者数(修了見込みを含む。)	9734 名	211 名 (12 位)
受験予定者数(修了者)	9564 名	206 名 (12 位)
受験者数	7392 名	174 名 (11 位)
受験者のうち既修者数	3274 名	41 名 (23 位)
受験者のうち未修者数	4118 名	133 名 (3 位)
未修者数／受験者数	55.71%	76.44% (39 位)
短答式試験合格者数	5055 名	106 名 (16 位)
短答式試験合格者数／受験者数	68.38%	60.92% (40 位)
最終合格者数	2043 名	46 名 (12 位)
合格者のうち既修者数	1266 名	16 名 (20 位)
合格者のうち未修者数	777 名	30 名 (3 位)
最終合格者数／受験者数	27.64%	26.44% (18 位)
最終合格者数／短答合格者数	40.42%	43.40% (15 位)
既修者合格率	38.67%	39.02% (22 位)
未修者合格率	18.87%	22.56% (17 位)

本年度の新司法試験に際しましては、平成 19 年 3 月の修了生 28 名(うち、既修者 1 名、未修者 27 名)、同 20 年 3 月の修了生 40 名(うち、既修者 2 名、未修者 38 名)、そして本年 3 月の修了生 106 名(うち、既修者 38 名、未修者 68 名)が受験いたしましたが、結果的には、一昨年の修了生 2 名、昨年の修了生 10 名、本年の修了生 34 名(うち、既修者 16 名、未修者 30 名)が合格いたしました。

本学の最終合格率は、受験者の 26.4%であり、全国平均 27.6%を若干下回るものとなりました。

た。その直接的な原因としては、短答式試験の合格者が少なかったことがあげられますが、受験生に占める未修者の比率が高いことを勘案すると、未修者の合格者数が全国3位となったことをむしろ評価しております。また、短答式試験の合格率が低かったのに対して、短答式試験の合格者のうち最終合格者の割合が比較的が高かったことも特色であり(全国15位)、未修者の多い本学出身の受験生においては、法的知識の理解度・到達度が不十分であった一方、論文試験における分析力や文章構成力においては力を発揮することができた結果と分析しています。これらの点は、本学が司法制度改革の理念に従い、未修者を中心とする教育を重視してきた結果の一端であると考えられます。むろん、今回の試験結果をふまえ、検討すべき課題も数多く発見されており、すでに種々の対策を実施していますし、さらに効果的な教育の充実に努めていく所存であります。